

10月30日(金) 12:50-15:05

セッションチェアマン：松浦 正純(ルネサス エレクトロニクス株)・山崎 治(シャープFIT オートモーティブ株)

◆ ADAS/自動運転のための画像認識 AI



株式会社 東芝
研究開発本部 研究開発センター
メディア AI ラボラトリー
主任研究員
関 晃仁

[講演要旨]

車載カメラ等を用いて周囲の物体の位置や動きを推定・予測することは ADAS や自動運転システムには必要不可欠である。本講演では、弊社が開発した世界最高精度な動き推定 AI を含め、一般道路等の様々な状況下での利用を想定した画像認識 AI について広く紹介する。

[講演者プロフィール]

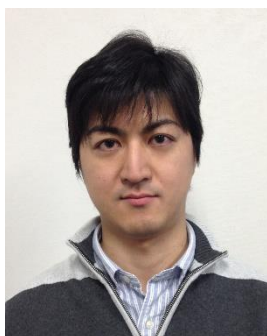
2007 年 東京工業大学 大学院理工学研究科 博士課程修了。

同年 (株)東芝入社 研究開発センター配属。

2015-16 年 スイス連邦工科大チューリヒ校 客員研究員。

現在、同社 研究開発センターにて画像認識技術の研究開発に従事。博士（工学）。

◆ 車載システムの安全規格動向と電子デバイスへの期待



名古屋大学
大学院情報学研究科
情報システム学専攻
准教授
松原 豊

[講演要旨]

高度運転支援や自動運転の実現に向けて、車載システムが大規模化、複雑化している。本講演では、車載システムの安全規格について最新動向を紹介し、主にソフトウェア開発者の視点から、電子デバイスへの期待を述べる。

[講演者プロフィール]

名古屋大学大学院情報科学研究科附属組込みシステム研究センター研究員，助教等を経て，2018年より現職。

組込みシステム向けのリアルタイム OS，リアルタイムスケジューリング理論，システム安全，セキュリティ等の研究に従事し，企業との共同研究，産学連携プロジェクト等を推進。

博士(情報科学)。IEEE，情報処理学会，電子情報通信学会，自動車技術会各会員。

◆ モビリティサービスとこれからのクルマ社会



株式会社 Mobility Technologies

次世代事業部

自動運転タクシーグループ

グループリーダー

竹村 紀章

[講演要旨]

モビリティサービスに対する自動車・IT 各業界の視点やアプローチの違い、CASE・MaaS・スマートシティなどのトレンドとの関係、これからのクルマ社会の変化や今後必要となるモノなど、双方の業界に在籍した立場での見解をご紹介します。

[講演者プロフィール]

日産自動車ではボディ電装系やセーフティ系の電子システム開発・部品設計に18年間従事した後、DeNAでモビリティサービスの事業企画や技術戦略に携わる。現在は、Mobility Technologiesで自動運転タクシーの事業企画を推進している。

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

【A-1】 with-CORONA & post-Corona の Mobility 動向

【A-3】 次世代車載パワーデバイス